

第494回 放送番組審議会

1. 日 時 2014年2月18日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 12名

出席委員 9名

委員 長	坂本 修
委員	池田 克典
委員	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	平 英一
委員	國分 正人
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	丸山 謙一

欠席委員 3名

副委員 長	柴田 和子
委員	村川 健一
委員	五日市知香

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (常務取締役)
	青山 尚之 (取締役報道制作局長)
	菅野 智 (営業局長)
	野田喜代志 (報道制作局次長)
	桑島 広実 (報道制作局制作部副部長)

事務局	遠藤 隆 (編成技術局長)
	平井 直子 (編成技術局編成部副部長)

4. 議 題

1. 1月25日(土) 16:00-16:55 放送
「イズム2014 岩手をアツくするアスリートたち」
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側

- 毎年放送しているイズムだが、今回は近づいてきた岩手国体に対する番組の姿勢が鮮明になっていた。岩手で生まれて育った者にとって三ヶ田礼一さんは金メダリスト。地元のヒーロー。そうした人が人材育成の話をするのは興味深かった。
- 壁に当たったときやけがに対するアドバイスで参考になった。けがを治すことより心のダメージを癒すことが大切だということ。身につまされる。大人たちは早く直せと言う。しかし子供の心のケアが大切。子供たちも親たちも知った方がよい言葉だった。
- 1時間番組にしては総花的で平面的で見せ場が少なかった。飽きてしまった。これまでのイズムはスポットを当てた人を深掘して興味深かった。

局側

- いつもは4、5人しか紹介していないが今回は全国的に活躍した人が多いので多くした。例年なら深く紹介できるが、登場人物が多くて深く紹介できなかつた面がある。

自社制作番組放送スケジュール

(2014年2月18日～2014年3月17日)

- ◆ 2月23日(日) 12:00-12:30 「対鶴よJへ舞え!～グルージャ盛岡J3へ参戦～①」 (仮題)
- ◆ 2月23日(日) 16:25-16:55 「第56回わんこそば全日本大会」
- ◆ 2月25日(火) 13:55-17:53 「岩手県議会中継」
- ◆ 3月2日(日) 16:55-17:25 「対鶴よJへ舞え!～グルージャ盛岡J3へ参戦～②」 (仮題)
- ◆ 3月8日(土) 10:30-10:45 「岩手県議会総集編」 (仮題)
- ◆ 3月9日(日) 24:50-25:45 「NNNドキュメント ‘14～震災3年、それでも生きる～」
- ◆ 3月11日(火) 15:50-16:53 「テレビ岩手 東日本大震災 特番」 (仮題)

2月番組審議会(今回)のテレビ放送予定

- ◆ 2月25日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」